



令和2年度

認知症になっても大丈夫！

そんな麻生区をめざして

～認知症の人の声からはじまる
地域のしくみづくり～

麻生区役所地域みまもり支援センター

(福祉事務所・保健所支所)

地域支援課

目 次

1 経緯	1
2 認知症の人の声の聴取	3
3 認知症の人との共生をめざした取組	
(1) 講演会	5
(2) 認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例報告及び情報交換会	10
(3) パネル展示	12
(4) 冊子やホームページ、市政だより等による普及啓発	15
(5) 「認知症にやさしいまちあさお」表彰	16
4 認知症の人の声	17
5 今後に向けて	34

参考資料

- ・ 本人にとってのよりよい暮らしガイド
- ・ 認知症と共に生きる希望宣言
- ・ 認知症施策推進大綱（概要）

1 経 緯

麻生区役所地域支援課では、区の認知症施策の推進のために平成27年度から「あさおオレンジプロジェクト」(認知症ケア会議)を開催し、関係機関・団体から意見を取り入れて取組を推進しています。

〈麻生区の認知症施策のテーマ〉

認知症にやさしいまちあさお

あさおオレンジプロジェクトとは・・・

認知症の人を単に支えられる側と考えるのではなく、認知症の人が認知症とともによりよく生きていくことができるよう、麻生区における認知症ケアの推進に取り組むことを目的に設置された協議体です。

構成員:川崎市認知症ネットワーク・麻生区民生委員児童委員協議会・麻生区社会福祉協議会・地域包括支援センター(2か所)・認知症サポーター・認知症本人

事務局:麻生区役所地域支援課

〈あさおオレンジプロジェクトの取組〉

●「あさおももの忘れガイドマップ」の作成(平成30年度)

もの忘れが心配な人が相談できる機関や、認知症カフェなどを掲載した資料です。区役所・医療機関・地域包括支援センター等で配布しています。



●RUN伴(平成30年度以降)

認知症の人や家族、支援者、地域の人がりりーをしながら一本のタスキをつないでいくイベントです。平成30年度は、麻生区で応援チームが発足し事業所からの応援メッセージのパネル展示、認知症カフェを開く等の取組をしました。



●RUN伴+ (令和元年度)

区内事業所からの応援メッセージと、認知症の人の声を冊子にして配架しました。



●オレンジでつながるプロジェクト (令和2年度)

新型コロナウイルス感染症の影響で、イベント形式ではなく、Webで情報発信を行いました。

川崎市HPから「認知症の人の声」を投稿できるようにしました。



川崎市ホームページ「麻生区の認知症に関する情報」

QRコードはこちらをクリック →



2 認知症の人の声（気持ちや想い）の聴取（令和元年度～令和2年度）

<目的>

令和元年第1回あさおオレンジプロジェクトでの話し合いの中で、本人の意見を取り入れた施策を推進することを目的に、認知症の人の声を集め、集約することになりました。

<国の動向>

新オレンジプラン（2015年1月）以降、「本人の視点重視」が施策の重要な柱として位置付けられています。

令和元年6月18日に認知症施策推進大綱が発出され、基本的な考え方の中に、「共生」（本人が尊厳と希望を持って、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現）「予防」（認知症になるのを遅らせる、またなっても進行を緩やかにする）が盛り込まれました。2025年までに全ての市町村で本人の意見を重視した施策の展開が行われる事が目標となっています。

「本人の意見を重視した施策の展開」は
根幹は本人の声をもとに、

- 本人の意思・生き方・生活を重視
- 何事も本人と決める・一緒に進む
- 本人の力を重視／可能性重視
- 本人が支え手として活躍
- 本人が地域に出る／出られる環境
- 初期～最期までより良く生きる
- 多様な人がつながり一緒に歩む・・・を実現させるもの

今、認知症になっても安心して暮らせる地域の支援体制づくりが求められています。

そのための一歩となるよう本人の声を集めました。

<声の収集の方法>

令和元年度

令和元年6月に麻生区役所地域支援課から関係機関等に依頼をし、集約しました。

関係機関等

- ・あさおオレンジプロジェクト委員・麻生区内地域包括支援センター（7か所）
- ・サポートほっと（認知症の相談機関）・どんどん（若年性認知症の会）
- ・介護事業所・認知症の人が参加する場面（認知症カフェ・話し合いの場など）等

認知症の人と接する中で何気ない本音の一言・話した場面・その時の対処の仕方について可能な範囲で記録をし、地域支援課でエクセル表に集約しました。

令和元年7月から11月迄で本人の声81件、家族の声1件が集まりました。

令和2年度

あさおオレンジプロジェクト委員及び「認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例報告及び情報交換会」開催にあたり介護事業所から提出されました。

<関係機関等>

- ・あさおオレンジプロジェクト委員・新百合ヶ丘居宅介護支援事業所さくらそう
- ・ケアセンター介護福祉士会・みのりの家 麻生・栗木台居宅介護支援事業所
- ・GTLケアプランセンター新百合ヶ丘・パナソニックエイジフリーケアセンター麻生デイサービス・ヒューマンライフケア新百合ヶ丘グループホームヒューマンライフケア麻生グループホーム・ヒューマンライフケア麻生グループホーム2号館・みんなの家 川崎新百合ヶ丘・カーサしんゆりフランシア・ナーシングホーム岡上・訪問看護ステーションゆらりん・えみの里・麻生グループホーム・かわさき記念病院・特別養護老人ホーム金井原苑・桃の木停 ふるさわかないばら苑・地域福祉センター金井原苑・かないばら苑 訪看・結ケアセンターあさおDS
- ・栗木台地域包括支援センター
- ・百合丘地域包括支援センター

令和2年度は、認知症施策推進大綱の基本的な考え方である「認知症の人が希望を持って認知症と共に生きる」に関連する施策に繋げるために、「本人がやりたい事」「日常生活の工夫」「暮らしやすいまち」にテーマを絞って声を集約しました。

令和2年4月から11月迄で本人の声203件、支援者の声12件が集まりました。

3 認知症の人との共生を目指した取組 (令和元年度～令和2年度)

(1) 認知症講演会

令和元年度

認知症講演会 「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして
～認知症の人から学ぶ思い・願い～

令和2年2月18日(火) 13時から15時30分 麻生区役所第1会議室

<登壇者のコメント>



私は2018年の末に放送されていた、主人公が若年性認知症を患うというドラマを見ている中で、自分と重なる部分が多くあり、不安を感じて病院を受診し若年性認知症と診断を受けました。

私は認知症になってしまったので何も分からない状態になるのだと頭が真っ白になり、涙が止まりませんでした。

息子が高校生になり、自分の時間を大切にしていきたいと思っていた矢先だったので、とても辛く、しばらく自宅に引きこもる生活が続いていました。

市役所に出向いたら若年性認知症の資料が無く、重度になってからの支援のパンフレットのみを渡され、多摩の若年性認知症総合支援センターを紹介されました。総合支援センターで守谷さんが私の話に耳を傾けて下さり、家に閉じこもっていて居場所の無い私に「DAYSBLG! はちおうじ」という素敵な居場所を作って下さり、年代の異なる素敵なメンバーさんとの出会いもありました。BLG!のメンバーさんはとても笑顔が素敵でやりたい事に積極的に参加しています。

正直に言いますと、認知症にはなりたくなかったです、悔しいです。

不自由な事もありますがたくさんの方々との繋がり、「認知症になったから不幸、終わりではない」と思えるようになってきました。

住み慣れたまちで安心して暮らせるために微力ながら私も当事者の1人として少しづつ声を挙げていければ良いと思います。(40代女性)

認知症になっても楽しく生きましょよ、みんなで楽しくやっていたら、認知症なんて怖くないよ。(50代男性)



認知症になって、仕事を辞めて6年から7年、何もしないのは退屈だから何かを作りたいなという事で、竹で靴べらを作り始めました。野菜も畑で作っています。

仕事はしていないので無駄なお金を使わないようにして、車も乗らなくなったのでガソリン代も使わなくなり、最初は歩くのがきつかったけど、今では車を使わない生活に慣れてきました。

うちの家内は仕事をしているので、私も仕事を探したいと思っています。昔の友達から植木屋さんの手伝いの話は出ているので、いい友達を持つと、また紹介してもらえるのだと思います。

働きながら、徐々に体を動かして認知症に負けないように自分なりにやりたいと思います。(70代男性)



2015年2月、58歳の時メモリークリニック外来を受診して、3月にアルツハイマー型認知症と診断され、会社は来なくてよいと言われました。

先生から「社会とつながりを持ちなさい」と言われ、その年の11月に川崎市の若年性認知症の会「どんどん」に参加させて頂きました。大山街道ふるさと館で民謡の会を見学しハーモニカの演奏を見て、「ハーモニカを吹きたいな」という事になり、どんどんの定例会でも時々演奏しています。(60代男性)

令和2年度

認知症講演会「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして
～認知症の人から学ぶ思い・願い～

令和3年3月1日(月) 13時から15時 麻生区役所第1会議室

<登壇者のコメント>



「私はアルツハイマー病と診断され認知症になって、ある時に仕事場の健康診断の関係で病院に行って検査して診断を受けて今に至ります。脳外科の先生が言うには、今の薬は治る薬じゃないそうですが、薬を飲んで、今は状態維持していくというのを聞きました。

仕事場に運転して行っていたので、一人で運転するのも怖く感じて退職しました。本当は退職までしたくなかったけれど、人を乗せて運転している以上は降りて正解だったのかもしれない。実は、自分でもわからないのですが、車道から歩道に乗り上げるということが一回じゃなく、逆走したこともあったのです。

車を使わない今の生活では、脚も弱くなってきたので、意識して歩こうとしています。こうなった時点で情けなさや悔しさを感じています。去年から自分の畑で野菜を作っています。お酒は好きだけどタバコはやめて小遣いが全然いらなくなったので、家内から千円もらって1ヶ月過ごしています。

何十万もかかって心臓の手術をしている時点で私は救われています。今、市の施設の制度で補助金を出していただけているので助かっています。もっと助けてもらう人が増えればいいと思います。

今後は、今まで通り、自分のできる範囲のこと、野菜の世話を、子どもを育てるような感覚で続けていきたいです。(70代男性)



当日、認知症本人のSさんが欠席のため、一緒に地域活動に関わっていらっしゃる方に、Sさんの普段の様子などについてお話し頂きました。

Sさんとは、民生委員になったのがきっかけで、20年くらいのお付き合いになります。Sさんは2000年に介護保険制度が始まる頃にミニ・デイサロンを立ち上げる時のメンバーになり、そこから十何年位代表をしてらっしゃいました。私はサロンに興味があったので、一緒に活動するようになりました。

サロンはミニデイサービスのように、朝10時に始まり、体操やお茶をしてお昼をいただき、午後はお話をしたり。月によっていろいろなお楽しみ会があります。手作りのスイスの民族楽器やハーモニカの演奏、戦争中の話、朗読、栄養士さん、包括の方のお話などです。包括の方と顔見知りになることは、何かあった時に相談しやすくなり心強いと思います。

Sさんがいつもと違うなと気付いたきっかけは、以前に比べて忘れ物が多く、鍵、携帯をずっと探していたり、車で車道の真ん中を走っていて対向車とぶつかりそうになったりしたことです。ご本人も「色んなことを忘れちゃう」と言っていたので、診察を受ける事を勧め、包括に相談しました。診察は一昨年を受けたそうです。去年の今頃集まりがあった時、「私認知症だけどうことができます」と自分から発言なされたので、ご自分で認知症を受け入れられた事に安心しました。

困ったことはないのか聞くと、「困ってはいないが私バカになっちゃって色んなことを思い出せなくなっちゃったのよ」とおっしゃいました。あのくらい穏やかにほんわかしていられたらいいなと思います。

本の帯で見た言葉を引用させていただきます。

“認知症の人は、多くを語らない。だが、普通の人たちより、人間の生きるということの不思議をずっとたくさん体験している。その真実を手に入れている。”

今の私にはとても響く内容だと感じました。」(Sさんは80代女性)



ご夫婦で体験談をお話し頂きました。

<奥様>

私が聖マリに伺ったのは母のもの忘れかひどくて、2000年の春に長谷川和夫先生のラジオを聞いて受診を決心しました。

最近私ももの忘れが出てきました。ものを全部一袋にまとめたくてしまい、どこに物があるのかわからないのです。分類ができなくなっちゃったんですね。

今は、仕事をしなくなったということで大変助かってます。のんびりしてます。自分で記録しなきゃいけないということで、日記を書く、本を読むなどしています。

<ご主人>

現在、食事は、ご飯や副菜は惣菜を買ってきてしまいます。

私は24歳で就職しました。その時は高度経済成長期で、みんなものすごく働いた、その中で猛烈社員、働き蜂、企業戦士という言葉が生まれた時代。そういう人たちが退職した後どうかというと、身も心もボロボロになりました。今の高齢者の認知症には背景にこういう働きすぎだったという問題があるのではないかと思う。今までできたことができなくなりました。庭の草むしりもできなくなりました。

義理の母についてはこんな事がありました。戦前に教師をしていたので、クラス会に呼ばれて、断るつもりでいたが教え子の熱意に負けて行くことになった。その行きタクシーで「私今日どこに行くの？」と何度も聞く。でも会場に入ったらガラッと変わって、昔の先生に戻ったんですね。教え子と「あなた変わってないわね」など会話を交わして、「今日はありがとうございました」ときちっと挨拶をして、会が終わりタクシーが走り出したとたんに「私今日どこに行ってたの？」と言い、周囲を驚かせました。

私は要支援1、妻は要支援2、友人の要介護2の人を誘って、演劇鑑賞に行くのですが、休憩時間にお手洗いに行くと席がわからなくなってしまい大変なんです。でも芝居を見に行くのはやめません、やめたら後退するばかりですから。

長谷川和夫先生自身が「自分が認知症側になったことで見える世界がある」とおっしゃっている。偉い方ですね。だから私自身の目指す方向としては自分が今まで見えなかったことが見えてくる、私自身が認知症になったということで人間的に成長している、ということでもいいんじゃないでしょうかね。(ご夫婦共80代)

(2) 認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例報告及び情報交換会

令和2年度

認知症と診断された人は介護サービスを利用しており、サービスの質がQOLに大きく影響することから、介護事業所の関係者と認知症の人の声（想い）を共有し、より良い支援に結び付けられることを目的に開催しました。

各事業所で「認知症の人の声への対応」について事例を話し合い、以下の内容が出されました。

【事例① その人の持てる力を引き出す取組】

- ・「歌を歌うのが好き」・「絵を描くことが好き」など、好きなことをデイサービスに取り入れた。
- ・詩を書くのが好きな人の詩集を作って配布し、周りの人にも知ってもらった。
- ・認知症の人は記憶が衰えてはいるが、人格は変わっていないので、役割を持ってもらい、足りない所をサポートするようにした。

【事例② ケアプランに活かした取組】

- ・夫婦共に認知症で介護サービスを受け入れてもらえない状況だった。現状を続けられるうちは続けてもらい、SOSが出た時に対応できるよう、日頃から関係づくりをすると共に、本人達の好きな場所・事を見つけていきながら、民生委員の見守りを継続していく。
- ・「お風呂に入るのが面倒」という方には、ケアマネージャーがお風呂に入る時間が何時なのかを見極めて、その方に合った時間にサービスを組み入れた。
- ・「犬と暮らしたい」という希望があり、犬と暮らす1日の流れから介護保険のサービスを組み立てた。支援者側は当初、犬を飼うのは難しいと思ったが、本人が支えられる側になるのを嫌がり、犬がいることによって支える側になることができた。

【事例③ 地域の人とのつながりに関する取組】

- ・認知症当事者から話を聞きたい、という声に対して当事者同士で話す場を作った。少し早く認知症になった先輩の話聞くために、認知症のグループを紹介した。
- ・昨年の認知症講演会で当事者の方から話を聞いて、「自分は認知症だ」とカミングアウトしたことで、周りの方からサポートを受けられるようになった。地域のサロンの主催者だった方で、今は周りの方のサポートを受けながら参加する側として、引き続きサロンに関わっている。
- ・美容院に行きたい、という声に対して近所の美容院が出張してくれた。

<研修会参加者のアンケート結果>

【事業所内で活用したい内容（抜粋）】

- 本人の気持ち・思いに敏感にならなければと感じた。
- 自尊心を傷つけずその人の役割を見つける。
- 趣味を続けたり、本人の得意とするところを見つける。
- 認知症になっても本人のやりたい事があり、それを支援することで本人の自信につながり、良い方向に向かうことができることがわかった。
- 「認知症の人だから」特別な対応を必要としているのではなく、丁寧に対応することは全ての人に必要で、それが皆で暮らしやすい社会になると感じた。

【認知症の人が暮らしやすくなるために必要な取組（抜粋）】

- 認知症の人の声（想い）を市民に周知し、理解を深めてもらう。
- 本人が集まって話ができる場を増やす。
- 本人のニーズが叶えられる。（働ける場所など）

（その他）

事業所相互の情報交換については、ほぼ全事業所が「必要」と回答。



(3) パネル展示 **令和元年度・令和2年度**

- 区役所ロビー展示（認知症の人の声のポスター掲示・資料配布）
 - ・ R1. 9/25（水）～10/2（水）（7日間）
 - ・ R2. 1/21（火）～2/20（木）（24日間） ※土曜開庁日を含む
 - ・ R3. 1/25（月）～2/12（木）（14日間）



令和元年度の展示の様子



令和2年度の展示の様子

- 図書館で学ぶコーナー（麻生図書館で認知症の本・資料・声の展示など）
 - ・ R1. 9/18（水）～10/2（水）（15日間）
 - ・ R2. 9/7（月）～9/30（水）（24日間）

「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして」冊子を市内全図書館に配架、麻生図書館では貸し出し用として配架しています。



令和元年度



令和2年度のコーナー展示の様子



<認知症の人の声への反響>

方法：声の傍らに付箋を置き、自由に記入してもらいました。

- 自分も同じように思うと思います。
- 「私は私です」 そうです！ 私も私です ありがとう
- 一緒に笑顔！！
- いくつになっても子ども（50才？60才？）のことは心配なのですね！！
- 認知症の人の想いが少しわかった
- 本人の声が色々あってよかった。認知症の方も不安や心配事が多くて大変だと思った。
- 好きな事ができなくなるのはつらいと思う。少しでも実現できたらいいのに、と思った。
- 愛しくて抱きしめてあげたい！！
- こんなにステキな企画ありがとう♡
- 認知症になっても大丈夫って思いたい！
- おこられてばかりはいやですね。気持ちが落ち込みますね。
- いっしょに卓球やりたいですね。今度誘ってください
- 認知症若い人も理解していかないと・・・。
- 認知症の人と接する時の参考にします。
- 人生の先輩方はお手本です。
- みんなが助けてくれたら、ぎりぎりまで家に居たい
- 私にもできるのなら認知症の人の支えになってあげたいです。
- 私もニコニコして生きていきたいと思いました。一緒ですね。
- 「80歳になっても恋はするものよ！」心は純粋なまま・・・なのですネ♡
- 感性はみずみずしく生きてるのですね！
- 自分（は）（を）助けられるのは自分ですよ
- できることは待つ、失敗は普通の人にもある。心に留めます。
- 認知症になってもやりたいことがやれる それが大事
- 忘れた時の工夫を考えればよいだけ！！とても元気づけられることばでした。
- つ♡き♡ひ♡
- 認知症は長生きの大変さを助けてくれる宝物って。長生き目標やめて各々の寿命をまっとうする方が良い。
- 頭でわかっているけど、できなくなる頼りない自分を笑顔で受け入れきれない。
- 認知症でもできることはたくさんある！！
- がんばってください わか 😊

- ファイト！がんばれ～！
- そばに安心できる人は必ず居ます。
- ONENESS たくさんの学びをありがとうございます ♡
- 人生の先輩方はお手本です。
- がんばって 😊
- 良企画ですね！勉強になります。
- いろいろがんばってね
- お年よりの知恵を必要とする人たちもいる。
- 認知症だって人生です。圏外にしてはダメですよ。
- 認知症なんて、全然こわくない 大丈夫！
- どの町にもサポーターは必ずいます♡
- 認知症は、何が出来る事があったら、何でも良い！



メッセージツリー (付箋に感想を書いてもらいました)

(4) 冊子やホームページ、市政だより等による普及啓発

● 冊子の作成・配布

令和元年度「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして」

令和2年度「認知症の人の声（想い）に沿った支援の事例報告及び情報交換会報告書」



【図書館での展示】

● 市政だより（令和2年1月1日号）

01 あさお 区報 1月号

あさお 1月号

あさおもの忘れガイドマップ

認知症カフェ

物忘れ？認知症？ 気になっていませんか？

認知症講演会

パネル展示「認知症の人の声」

RUN伴+あさお

名称	住所	問い合わせ先	電話	住所	問い合わせ先
榎本アールパーク	上郷4-15-19	榎本センター	0429-5403	南内庄	南内庄センター
栗本町	栗本町1-13-5	栗本町センター	0429-5160	新百合	新百合センター
紅の郷	赤坂5-5-20	紅の郷センター	0429-4083	南石	南石センター
片平	片平1-43-2	片平センター	0429-4980		

● 川崎市ホームページ
「麻生区の認知症の取組」



QRコードはこちらをクリック

(5) 「認知症にやさしいまちあさお」表彰

「認知症にやさしいまちあさお」の実現に向け、麻生区における認知症ケアの推進に取り組む個人又は団体を表彰し、認知症の人との共生社会が推進されることを目的として、表彰を行いました。

令和3年2月、デイサービスに通所している認知症の人が、精神的に不安定な状態になり、立ち寄った「トヨタカローラ（株）新百合ヶ丘店」で丁寧な対応を受け、落ち着かれたという事例がありました。

「認知症にやさしいまちあさお」に貢献した事例として、麻生区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）所長から表彰状とステッカーを贈呈致しました。

今後も認知症の人が暮らしやすいまちづくりの輪が広がるよう、「認知症にやさしいお店」に対して表彰を行い、表彰した店舗には、ステッカーを掲示してもらい区民にも広く周知してければと思っています。



【麻生区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）所長の表彰】



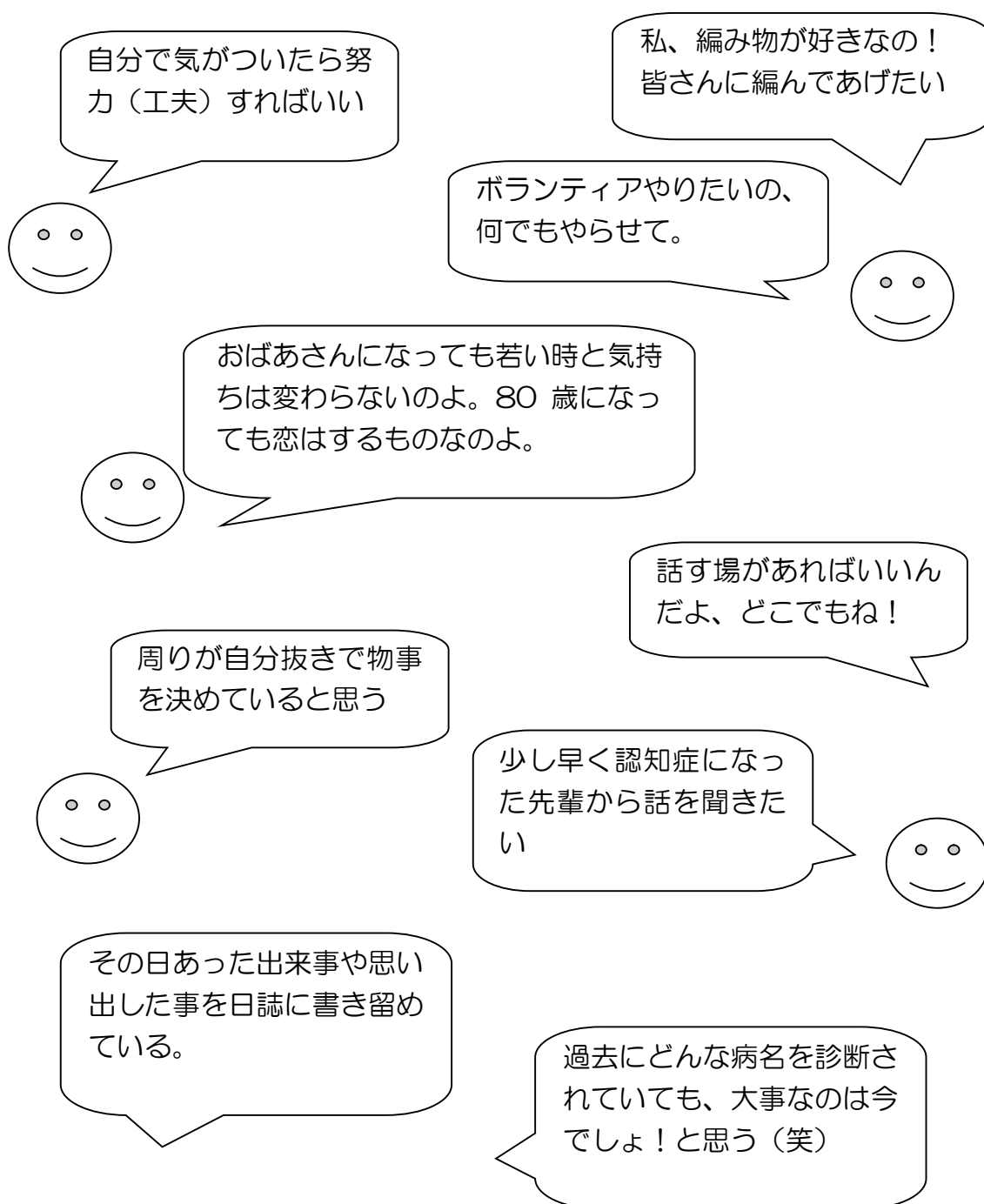
【ステッカー】

4 認知症の人の声

令和2年度には、認知症施策推進大綱の基本的な考え方である「認知症の人が希望を持って認知症と共に生きる」に関連する施策に繋げるために、「本人がやりたい事」「日常生活の工夫」「暮らしやすいまち」にテーマを絞って声を集約しました。

テーマごとのリーフレットを作成し、市のホームページに掲載して自由に使って頂けるようにしました。

(抜粋)



人とのつながり

声かけしやすい
地域

困ったときに
(徘徊など) 近所の
人が助けてくれる

助け合って
暮らせる町になって
ほしい

近所の人とお互い
顔の見える地域

誰かが様子を見に
来てくれる。頼れる
人がいる

ボランティアが
いっぱいいる町に
なってほしい



認知症の人の声 「暮らしやすいまち」



あるとよいもの

歩けるところに
図書館がほしい

認知症でも働ける
場所がある

認知症の人が利用
しやすいお店
(スーパー) がある

いつでも行けて、
お茶や話ができる場所

お店屋さんが来て
くれると助かります

近くに温泉が
あると良い

気軽に通うことの
できるダンスや体操
等の教室

道や交通

車がびゅんびゅん
走っていない方が
良い

歩くエスカレーター
(歩道) があれば良い

コミュニティバス
など動いている地域

信号がちゃんと
ある

昔に比べると道路の段差
が少なくなったが、
もっと少なくしてほしい

歩道と車道が
はっきりしている

買物が困難、バスが
あると便利

仕事

妻に世話になって
いるばかりじゃあ、
男としての面子が
立たないよね...
働きたいよ。

出来る事なら
何でも
手伝うよ

私、だめ人間に
なるから、手伝うから
言って下さい

働きたいけど
力がない。

ボランティア
やりたいの、
何でもやらせて。



趣味

踊りを教えたい
(日舞の師範)

私、編み物が
好きなの！
皆さんに
編んであげたい

“中秋の名月”の
詩を書いたから
見てもらいたい。

プロの歌手の歌
を生で聞きたい

かつての趣味
(書道、茶道)
もう一度やって
みたい！

お彼岸だから
“おはぎ”が食べたい。
“おはぎ”はよく
作っていたから、
自分で作りたい。

認知症の人の声 「やりたい事」

家族や友人

淋しいし、不安
だから話を聞いて
もらいたい。

今日は娘の誕生日
だから電話したい。

皆とこういう風に
話すのがいいんだよ。

話す場があれば
いいんだよ、
どこでもね！

60~70代の異性
の話し相手が
ほしい

少し早く認知症に
なった先輩から話
を聞きたい

食べる事 着る事

お酒を飲み
に行けるように
してほしい

キレイな洋服
を着たい

喫茶店で音楽を
聴きながらお茶を
飲みたい



自己研鑽

字や数字を書いている

TVを観て学んでいる

漢字の書き取りをしている

新聞を読んでいる
⇒ 世間から切り離されないように

食生活に気をつけている
野菜を多く摂る

怪我をしないように気をつけている

散歩している

外出するように気をつけて歩くようにしている

人との関わり

他人まかせず、できることは自分でする

家の中にこもらず外に出かけ友人に会う

地域の人とつながる工夫

仕事（職員の手伝い）をするようにしている

週に2～3回離れて住む家族に連絡をして近況報告する



認知症の人の声 「日常生活の工夫」



忘れないように

予定はカレンダーに書く。新聞や電波時計で日付を確認する

取りやすいところ（高さ）に物を置いている

物がどこに入れたか分からなくならない様に、引き出しに見出しシールを貼っている。

必要なものは起きてすぐ見える様にしている（TVのリモコン、エアコンのリモコン、薬カレンダー、etc...）

認知症当事者が散歩（一人での）から戻ってきた時、自分の家がわかる様に、（主に夜間）玄関ドアに目印としてピンク色の造花をつけました。これ以来、迷う事なく自分の部屋に戻れる様になりました。

その日あった出来事や思い出した事を日誌に書き留めている。

ガスではなくIH

テーマ「暮らしやすいまち」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
1	PMお茶の時間	近所の方とお互い 顔のみえる地域	同じフロアでお茶会の開催をしている
2		挨拶が元気な地域	
3		買物が困難、バスがあると便利	
4	PMお茶の時間	声かけしやすい地域	
5		コミュニティバスなど動いている地域	
6		助け合って暮らせる町になってほしい	
7		近くに温泉があると良い	
8	フロアにて聞取り	お店やさんが来てくれると助かります	お買い物レクを企画しています(コロナ禍で現在は困難)
9	外	歩くエスカレーター(歩道)があれば良い	
10	外	ボランティアがいっぱいいる町になってほしい	
11	外	車がびゅんびゅん走っていない方が良い	
12	外	歩けるところに図書館がほしい	
13		認知症への理解が促進する	オレンジリング、キャラバンメイトの普及
14		認知症の人への偏見が無くなる	ランとも
15		困ったときに(徘徊など)近所の人々が助けてくれる	認知症をオープンにする
16		認知症の人が利用しやすいお店(スーパー)がある	
17		認知症でも働ける場所がある	
18	老人センター、公民館など	気軽に通うことのできるダンスや体操等の教室	気軽に通うことができ友人もできる
19	家の近く	いつでも行けて、お茶や話ができる場所	困ったとき、寂しい時に行ける場所がある
20	自宅	誰かが様子を見に来てくれる。頼れる人がいる	一人ではないと安心できる
21	小多機フロア	歩きやすい道が整っている	安心して外出できる街
22		歩道と車道がはっきりしている	安心して外出できる街
23		信号がちゃんとある	安心して外出できる街
24	デイフロアー	昔に比べると道路の段差が少なくなったが、もっと少なくしてほしい	
25	デイフロアー	物価や賃料が高い(他の地域に比べて)安くしてほしい	
26	デイフロアー	もっと交通の便を良くしてほしい	

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
1		認知症当事者が散歩(一人での)から戻ってきた時、自分の家がわかる様に、(主に夜間)玄関ドアに目印としてピンク色の造花をつけました。これ以来、迷う事なく自分の部屋に戻れる様になりました。	
2	朝のお茶の時間	他人にまかせず、できることは自分です	⇒料理を持ち寄りバーベキュー実施、自分の庭を利用
3	朝のお茶の時間	地域の人とつながる工夫	
4	自宅	必要なものは起きてすぐ見える様にしている(TVのリモコン、エアコンのリモコン、薬カレンダー、etc…)	
5	自宅	・その日あった出来事や思い出した事を日誌に書き留めている。	
6	自宅	・物がどこに入れたか分からなくなる様に、引き出しに見出しシールを貼っている。	
7	居室	漢字の書き取りをしている	
8	居室、食堂	字や数字を書いている	
9	廊下	人にぶつからないように気を付けている(車イス)	
10	居室	取りやすいところ(高さ)に物を置いている	
11	廊下	なるべく自分の力で車イスをこいでいる	
12	事務所、相談室	仕事(職員の手伝い)をするようにしている	
13	苑内	散歩している	
14	苑内	食堂がうるさい時には別の場所で過ごしている ⇒ ストレスなく過ごせる	
15	食堂、居室	TVを観て学んでいる	
16	居室	新聞を読んでいる ⇒ 世間から切り離されないように	
17		ガスではなくIH	
18		自宅内インフラの整備、水が自動で止まる等(自動化できるものはする)	←設備費用に国から助成が出る
19	自宅にて	家にある物の使い方(手順)が分からない	洗濯機や床暖房、インターホン等に手順通り番号を振っている
20	自宅で	出かける前に洗濯機の設定をして忘れないようにする	家事が継続してできるように
21	外出先で	家の中にこもらず外に出かけ友人に会う	人と会うことで刺激になる
22	自宅で	予定はカレンダーに書く。新聞や電波時計で日付を確認する	今日が何日か、曜日もわからない。忘れないように書き留めておかないと。
23	デイフロアー	怪我をしなように気をつけている	
24	デイフロアー	火の始末・戸締りを気をつけている	
25	デイフロアー	食生活にきをつけている 野菜を多く摂る	
26	デイフロアー	外出するように気をつけて歩くようにしている	
27	デイフロアー	週に2~3回離れて住む家族に連絡をして近況報告する	
28	デイフロアー	ホームセキュリティに登録した	
29	デイフロアー	安心ネットワークに登録した	
30	当事者の集まる会にて	すぐ忘れちゃうからずらしていけないといけない(生活や考え方など)	

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
1	グループホーム	足の具合が悪いから早く治りたい。	
2	グループホーム	トイレを一人で行けるようになりたい。	
3	グループホーム	働きたいけど力がない。	
4	グループホーム	車椅子をやめたい、歩きたい。	
5	定例会本人トーク時	卓球やりたい	
6	外出時	ボランティアやりたいの、何でもやらせて。	認知症カフェでもお手伝い
7	個人的関わりの時	大好きな歌を歌える場ならどこでも行きたい	
8	オレンジリング百合丘カフェ	「昔の歌しか歌いません。歌は好き。」	オレンジリングカフェ百合丘のプログラムに歌を入れた。
9	オレンジリング百合丘カフェ	「皆んなとこういう風に話すのが良いんだよ。」	初めてのカフェでの草むしりで参加してくださり、次回もお誘いする。
10		話す場があればいいんだよ、どこでもね！	
11	訪問時	「前は旅が好きだったけど、今は一人では行けない。」	一人で出かけて、迷ってしまうことへの不安感を傾聴し家族と旅行に行く等、外出の機会を保てるようにした。
12		車の運転が続けられないと残念だな・・・更新できるかどうか・・・	
13		ちょっとひとりで出かけたくなる時もあると思う。	
14		生活に自信がないの、でも、色々知りたいと思っているの。	
15		妻に世話になっているばかりじゃあ、男としての面子が立たないよね・・・働きたいよ。	
16		キレイな洋服を着たい	何枚も洋服を選んで5/Wデイに通う(季節に合わないことが多いので見守り必要)
17	訪問時	自分がいないと体操など始まらない。(リーダー的 성격の方)	〇〇さんがいらっしゃるので助かっていますね。お給料が欲しいくらいですね。
18		お彼岸だから“おはぎ”が食べたい。 “おはぎ”はよく作っていたから、自分で作りたい。	職員が見守り・介助しながら一緒におはぎ作りを行った。
19	グループホーム	“中秋の名月”の詩を書いたから見てもらいたい。	音読み、皆さんに聞いてもらう機会を作った。
20	グループホーム	友人に手紙を書いたから出してもらいたい。	預かり、切手を貼り、ポストに投函した。
21	グループホーム	毎日歩いていたから、外に行きたい。	職員と一緒に散歩に出掛けた。
22	グループホーム	今日は娘の誕生日だから電話したい。	職員が電話を掛け、取り継いだ。
23	グループホーム	お天気が良いから、お布団を干したい。	ベランダまで布団を運ぶのを手伝い、干してもらった。

テーマ「本人がやりたいこと」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
24	グループホーム	淋しいし、不安だから話を聞いてもらいたい。	傾聴し、その後得意な調理を一緒に行い、“ここに居て大丈夫なんだ”と思ってもらえるよう支援した。
25	自宅	直接見て買い物が見たい。	スーパーの送迎サービスを紹介。一人で買物に行くことが出来た。
26	住宅型有料老人ホーム	韓流スターが好きだった	ビデオを見てもらい、気分を落ち着かせてもらった
27	住宅型有料老人ホーム	かつての趣味(書道、茶道)をもう一度やってみたい	クラブ活動に参加してもらう
28	住宅型有料老人ホーム	歌うことが大好き	施設の合唱コンクールでソロパートを担当し、歌ってもらった
29	住宅型有料老人ホーム	庭いじりが好き	施設のバルコニーで園芸を楽しんでもらっている
30	デイの昼食後	何かお手伝いをしたい	食事の名前の札を集めていただいている
31	体操の時間	体を動かしたい(ジムに通っていた)	エアロビクスに参加し生き生きした
32	アクティビティ	踊りを教えたい(日舞の師範)	カラオケの後フロアで盆踊りを皆で踊った
33	夕食時(白米提供)	「私はパンが食べたい」	近いうちにパン食を提供する旨を伝えた。
34	就寝前	「父に会いたいから家に帰りたい」	ホームでお願いしたい仕事があることを伝えた。
35	朝食後	「何か仕事を持ってきて！」	豆の選別をお願いする。
36	フロアにて	「知り合いに会いたいから外に出して」	コロナウイルスが流行していることを伝える。
37	夜間居室にて	「娘に会いたい。電話して」	娘様に電話する。
38	フロアにて	「(色鉛筆をけずるために)ナイフを貸して！」	鉛筆けずりを渡す。
39	就寝前の居室誘導時	「お兄ちゃんのお尻について行く。」	
40		早く元気になって、ここを卒業したい	
41		出来る事なら何でも手伝うよ	
42		息子が帰ってくるから、ご飯作らなきゃ。	
43	荷物置き場	妻が退院明けて自宅にいるから帰ってもいい？	
44	フロア	あの、体操教室に行きたいんだけど…？	
45	フロア	お腹空いたから何かお菓子でも頂けます？	
46	フロア	息子が家にいるから帰る！	
47	浴室内	これから一緒に釣りに行くべ！	
48	フロア	〇〇さんとデイサービス一緒に行くんだよねー！	
49	フロア	孫の世話しないといけないから帰らせてくれない？	
50	フロア	野球しに行くから一緒に行く？	

テーマ「本人がやりたいこと」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
51	フロアにて	「お風呂に入りたい」「銭湯がいい」	
52	ホーム	お花が好きなので育ててみたい	お花を購入、プランター栽培をし水やりをお願いする
53	麻生区民会館	コンサート参加	会場にてみんなで合唱する
54	フロアにて聞取り	四季折々な花、植物を眺めながら散歩がしたい	秋の散歩日和に実施していく予定です。
55		気軽にカラオケなどを楽しみたい	
56		犬や猫と触れ合いたい	
57		プロの歌手の歌を生で聞きたい	
58	入居者同士の口論の後楽しく思っていないとき	高いお金払っているんだもの、楽しく笑ってたい	
59	やることない時	私、だめ人間になるから、手伝うから言って下さい	
60	手編みのセーターをほめると	私、編み物が好きなの、皆さんに編んであげたい	
61	どこでも	おいしいものが食べたい	
62	苑内	60～70代の異性の話し相手がほしい	
63	外	喫茶店で音楽を聴きながらお茶を飲みたい	
64	外	お酒を飲みに行けるようにしてほしい	
65	外	子供の家にすぐに行けるようにしてほしい	
66	対面による相談対応にて	友人に認知症であることを知られたくない	
67	対面による相談対応にて	家にいても仕方がない。病気だっていったってまだ働けると思う。働いて女房にお小遣いでもあげたいし、自転車を買いたい	
68		認知症を発症する前に「もし自分が認知症になったらどんなケアを受けたいか、そういう生活をしたいか」事前に考える機会があると良い。エンディングノートのように紙に残しておけると尚良し！	そのようなことを気軽に話せる機会の提供
69		MCIから軽度認知症の人が働ける場所があると良い(社会貢献するという意味で)	
70		通販、宅急便、スーパーの宅配サービス等から情報提供を受けられると良い	

テーマ「支援者の声」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
1	外出先(買物)	買いたい物を上手く伝えられない	買物先の店長や従業員が顔を知っていてくれて、声掛けしてくれ買いたいものや購入の仕方を教えてくれる
2		購入の仕方が分からなくなることがある	
3		介護者が子であり、他に兄弟がいない場合、初期は介護申請も行っておらず、サービスを利用していないため介護者が抱え込みやすい。ケアマネジャーがいない時期は情報も入りづらいため	その時期にネットで等で認知症について知ることができるシステムがあれば良い
4		介護者が一人の場合、当事者が座り込んで立てなくなった時、	急速第三者の介助が必要になった時に助けることのできるサービス
5		介護者が一人の場合、話を聴いてくれる人がいないため、	定期的な巡回があると良い
6		一般的に認知症の知識、特にBPDSがなぜ起こるのか知らない人が多い。	基礎的な知識があれば、介護者や地域の人も当事者を避けずに支援することができるのではないかと。そのための知識を幼稚園・小学校・中学校・高校と教育の一環として取り入れていく方法を考えたい
7		自宅退院を支援していく中で、訪問・通所サービスが充実することで地域に退院できるケースがある	
8		主介護者の負担軽減をするため、	認知症カフェや家族会などの参加型ではなく、専門職が自宅を訪問する形での傾聴サービスがあると良い
9		自宅退院は地域住民の理解が得られないと難しい点がある為	地域住民への啓発活動が大切になる
10		今でも認知症と診断されたことを近隣に伝えられないと話す家族がいる	「隣の人が認知症になっても変わらない！」と言える地域づくりが大切。当事者の見守りや外出の付添いをするボランティアがほしい
11		当事者が活躍できるように地域のボランティアグループが作れないか	
12	劇場	家族の要望もあり、外出レク(観劇)を行う 2名の利用者様	タクシーを利用し観劇を実施する。

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
1		気にするかしらないかの問題だよ	
2		自分で気がついたら努力(工夫)すればいい	
3		自信が無くてどこかへ隠れたいような気持になった	
4		(藤田和子さんの本を読んで)認知症でもやれば出来るんだと思った。	
5		(認知症かどうか)自分の心次第だよ	
6		できない事だらけでもう怖いもんなんでないよ。	
7		(予定を忘れる・・・)元々、思いついた通りに動いてるだけだよ。	
8		過去にどんな病名を診断されていても、大事な今は今でしょ!と思う(笑)	
9		認知症って病気のかなあ・・・	
10	訪問時	カレンダーが手放せないの。	ご自身でスケジュールの管理ができて いることを一緒に確認
11		わたしこの頃変なのよ、こわれちゃうのかしら。	
12		何だかポーっとして考えられないの。	
13		生きてるのよね、わたし生きてるのよね。	
14		この頃思い出せないの。どうしちゃったのかしら。	
15		あーいやだいやだ思い出せない。	
16	デイサービス	助けてください。怖いんです。	
17	定例会本人トーク時	物忘れすごくある、くやしい。息子に心配かけたくない。	仲間で見守ることを心がけた
18	定例会	それ、私が言ったの?ごめんなさい、すぐ忘れちゃって。	
19		忘れることは我慢できない、くやしい・・・気にしない人もいる。個人差あるから・・・。	
20		忘れるっていうよりも、覚えられないんだよなあ	
21		順を追っていけば思い出せはするのよ。	
22		みんなわたしを見るとにげるのよ、わたし、こわいの?	

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
23		やられたらやり返す。	
24	定例会外出レクの時の会話	カフェ?に参加したら高齢者ばかりで、ちょっとね	
25	個人的関わりの時	友人達が私を避けていると感じる	
26	個人的関わりの時	周りが自分抜きで物事を決めていると思う	
27	利用者宅	私のペースも考えて、物事を進めてほしい。	
28		普通に接してほしい	極力自然に接する事を心がけた
29		病気になったことで私の役割を勝手に外されてしまった・・・不本意だ・・・	
30		医者は皆はっきりしたことを言ってくれない。きっと皆わからないのじゃないか。	
31	本人から親族への手紙	私の人生もあと何年かわかりませんが、とにかく笑顔で人々と接触し、日々を送りたいです。	
32		うん、今はいいよ、いいよ。	
33	訪問時	何を言われてるのかさっぱりわからなくなっちゃった。でも大丈夫です。	生活で何ができて、困っているか判断がつかない状況になり、気持ちを表出することへの抵抗が出やすい様子が伺えた。段階を踏みながら信頼関係を構築し、必要なサービスへ繋げた。
34	グループホーム	毎日が新鮮!	
35		(忘れてるから)いつも新鮮だよ	
36	定例会本人トーク時	ストレスだらけ、でもいつもニコニコされると言われる。ニコニコできない所には行かない。	
37		道に迷っても心配ないよ。日本語しゃべれるもん、訊けばOK	
38		日本語が通じるんだから、道に迷ったら誰かにきけばいいよ。なんの心配もしてないよ!	
39		健康のヒケツは犬の散歩だよ!	
40		忘れたってどうにかなるってもんだよ!	
41	デイサービス	男性にトイレ介助されるなんて痴漢をされる位、恥ずかしいもの。	
42	利用者宅	デイサービスに行けだなんて、馬鹿にしている。	
43		家族にデイサービスに連れていかれたが、重度の認知症の人が多くショックだった。連れていかされてとてもイヤな気持ちになった。家族は自分を重度の認知症にさせたいのだろうかと思った。	
44	定例会	人に腕を組まれるのは子供っぽいからイヤ	危ない時だけ支える事にした

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
45	個人的関わりの時	他人の世話にはなりたくない	
46	個人的関わりの時	運転する事や酒を飲む事にまで、とやかく言われたくない	
47	個人的関わりの時	今はほっといてほしい!	
48	個人的関わりの時	女の子達(包括や介護事業所)にバカにされたくない	
49	家庭で	(続けていくつもの事を言わないで) ゆっくり言って!	
50	利用者宅	そこまで運動してまで長生きはしたくない。	
51		ニュースの影響もあると思うけれど、認知症だからといって運転が出来ないと決めつけないでほしい。頭にくる。	
52		認知症だからってあれもダメ! これもダメ! がんじがらめにされたんじゃ、イヤになっちゃうよ!	
53	病院から自宅まで送っている車内で	送ってもらって悪いね。1000円あるから箱そばぐらいならおごれるよ。	送ってもらって申し訳ないという気持ちを受け止めた。
54	訪問時	来てくれてありがとう。	独居での不安感が伺えたため、包括の連絡先を見える所に貼って頂いた。
55	生活リハビリクラブ麻生(デイ)	息子が洗濯の仕事をしているの。薬をたくさん使うので心配なの	時々「家に帰らなくちゃ」と落ち着きがなくなる。上記の想いが湧き上がってくるのだと感じる。
56	来所時	娘には話せない。ここなら話せると思って。	わざわざ来所して相談をしに来てくださったことをねぎらい傾聴。
57		娘におこられてばかりいるの、私、どーしちゃったのかしら。	
58	グループホーム	どうしたらいいかしら?	
59	グループホーム	さてどうしようかしら?	
60	グループホーム	分からなくなっちゃった	
61	グループホーム	ご飯作らなきゃ!	
62	グループホーム	息子や夫の様子見なきゃ!	
63	グループホーム	約束があるから行かなきゃ!	
64		頑張らなきゃと思う	
65	デイサービス	おばあさんになっても若い時と気持ちは変わらないのよ。80歳になっても恋はするものなのよ。	
66	スタッフの親族	私は私です。	
67		今あるもので我慢して生活している	

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
68		改めて聞かれると自分の頭では考えられない	
69		買い物に行かれない	
70		独り暮らしになったら不安	
71	家の近く	駅までの道が分からない	外出時、地図を持つ。或いは、送迎サービスorタクシーを使う
72	住宅型有料老人ホーム	家事はひととおりにやっていました	洗濯物たたみなどを職員見守りのもと行ってもらっている
73	家の中	認知症でもできることはたくさんある！	
74	家の中	判らなくなったら、誰かに尋ねて納得すれば良い。	
75	夜間居室にて	何である人は、あんなに怒るんだろうね	
76	夜間居室にて	娘は信用できない。ちっとも来てくれない	コロナウイルスが流行していることを伝える。
77	深夜フロアに来て	最近、バカになっちゃったみたい	
78	深夜居室にて	まだ起きるには早いな	
79	フロアにて	誰かが私の荷物を部屋から持っていった	もしかしたら自宅に送ったのかもしれないことを伝える。
80	フロアにて	私はここに勉強しに来てるの！	
81	フロアにて	何色で(塗り絵を)塗ったらいいの？	
82		最近すぐ忘れちゃうの。書いておかなきゃね。	
83		どうしたらいいの？	
84		いつもお世話かけてごめんね。ありがとう。	
85	荷物置き場	あの一この間来た時忘れ物なかった？	
86	フロア	ご飯食べたから帰ろうと思って…	
87	車内	あれ？ 私、時計忘れてこなかったかしら？	
88	フロア	今日デイサービスあったかしら？	
89	フロア	(他人の私物を見て)あれ、私のですよ！	
90	同上	マッサージ機返してください！	

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
91	席にて	(飲み物摂取後)私もらってないですよ!	
92	フロア	最近何だか物忘れが酷くてね…	
93	送迎	あと持っていく物なかったっけ?	
94	車内	最近忘れっぽくなっちゃって	
95	フロア	昨日デイサービス来たわよね?	
96	フロア	何時に帰るか忘れちゃったよ	
97	フロア	体操をしているよ	
98		歩いてる	
99	排泄	トイレ大変だもの、助けてよ! やってもらった方が楽!	自立を促してる方
100	就寝前	私、ご飯食べた?	
101	気遣いを感じたとき	ありがとね、必ずお礼するからね、助けてくれてありがと	
102	ポリデントに浸しておけない	入れ歯を入れないと頭がおかしくなる	
103	何気に思い出して	長男が何か言ってくる?(次男に世話になってる方)	
104	レクリエーションが終わったところ	私、何でここに居るの? 家に帰っちゃいけないの?	
105	夕方静かになると	お父さんどうしてる?(2年前に亡くなっている)	
106	1人していると	お金払ってますか、泊まる場所ありますか	
107	様子を伺うと	私、ここに来てよかった、嫌いな人だれもない	
108	座ってる時	私、何をやればいいんですか? じっとしていいの?	
109	他の方が楽しそうに喋っている時	もう! 同じことばかり言ってる、うるさい!	
110	入浴後	ありがと、ありがと、涙が出る…何もお礼出来なくて	
111	座って本を読んで	母は生きてるの? お父さんどうしたんだろう、娘来るの。	
112	寝る前	何だか心配なのよ、不安なのよ、眠れない	
113	トイレ誘導のとき	気の毒だわあ～迷惑かけてすみません	
114	何気に	ほんと分からんようになったわーボケたわあー	

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
115	いつ帰るんだろう	私、死ぬまでここに居ていいのね	
116	フロア内、16:00	体の小さな利用者様に指をさし、「その子供がおかしい」とおっしゃられる	「Sさんより歳上の方よ」
117	フロア内、18:15	タクシーは自由民主党の近くに止まってくれますかと、前ぶれもなくおっしゃる	「自由民主党はどこですか？」
118	食事中、18:00	これかしら？ここでいいのかしら？どれだろう？	指さしするとそこを召し上がる
119	トイレ前にて、19:00	ここで待っていれば、電話かかってくるんだね	「そこはトイレですよ」
120	居室ベッドにて、4:00	かんいちさ～ん、会いたいよ～	
121	フロアの他の利用者さんを見て	あら、変なのがいるわよ	
122	朝食後	何か食べる物ないの？	
123	フロアにて女性の利用者様を見て	彼はなんなの？ややこしくなったね、彼は女か	
124	フロアにて職員に	あなたを私の部屋に案内するので来てください	
125	フロアにて職員に	私は家がありますので家内の家に帰ると、ここがあきますので、そのあとはあなたが使ってください	
126	居室にて職員に	そのカーテンはきちんとしまりますから	
127	居室にて職員に	ここは物入れがあるのでここには細かな物を入れることができますので	
128	食事中に	お姉ちゃ～ん、こっちよ、ここに来て～	
129	夕方、フロアにて	誰か来るかもしれないから落ち着かない	
130	夜勤者に	ここ、あなたの部屋じゃないですよ、出てかないといけないから、と心配される	
131	他利用者を見て	変てこなじい～	
132	夕食後	さあ、どうやって帰ろうかな	
133	自宅	①色々なことが思い出せない	今はヘルパー導入。生活歴にあわせて本人の能力を引き出す予定。
134		②①の事で頭の中がグジャグジャ	
135		③こんな自分 あ～いやになる	
136		④疲れるのよ～疲れる～	
137		インターネットが使えない	

テーマ「その他」

No.	どこで(場面)	内容	対応(必須ではありません)
138		知り合いがどんどんいなくなってしまう	
139		子供が来なくなった	
140		出前が取れない。店もなくなったし、やり方がわからない	
141	施設内浴室	ゆっくりと入浴された後「僕はどうしてここで風呂に入ってるの？」	
142	施設内居室	私がここに居るのは息子がだまされているから	
143	施設内フロア	私はいつからここで生活しているの？(デイサービスの日)	
144	施設内居室	「お願いします！助けて！」と呼び続ける	
145	施設家族からの電話	通話が終えて「楽しそうでしたね」と言うと「えっなんのこと」とわからなくなる	
146	施設内夜間	居室のカーテン・窓を開け、外に棒を落としたのよと説明する	
147	自宅居室	ご自身が若い時の話を何度もする	
148	自宅居室	口腔ケア後すぐに「口やって」とおっしゃる	
149	自宅居室	そうじた所をお忘れ。直後にやってないと	
150	自宅居室	入院してる奥様が洗脳されて帰ってくる	
151	自宅居室	お一人なのにご自分の母親がいる・・と話される	
152	自宅居室	何が何だかわからないと仰る	
153	自宅居室	外は凍っているから気を付けてと仰る	
154	当事者の集まる会にて	急にわからなくなるんだよ。不思議な感じ。(それを理解してほしい)	
155	当事者の集まる会にて	なってみないとわからないよ。なった人は苦労している。	
156	当事者の集まる会にて	どれ？と聞かれてもわからない。これ、これと聞いてくれないと。	
157	電話によるアボどりにて	頭の中が真っ白になる。気が付いたらわからなくなるからいちいち聞き直すと思う。ごめんなさいね。(詳細にメモをとりながら)	

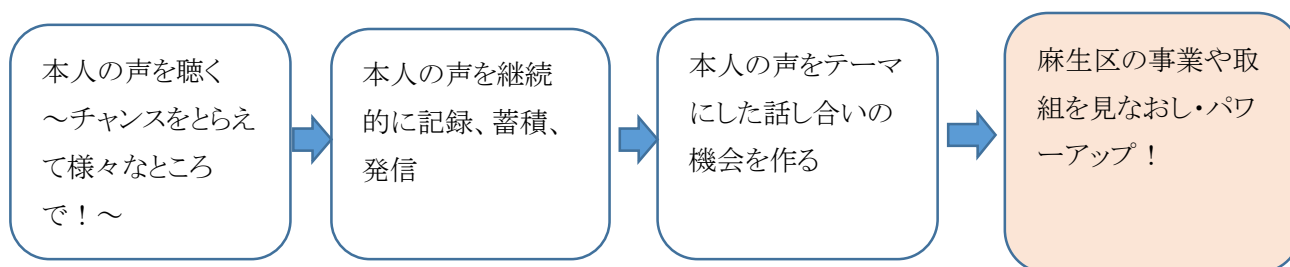
5 今後に向けて

令和元年度から令和2年度にかけて、認知症の人の声を聴取し「暮らしやすいまち」「本人がやりたい事」「日常生活の工夫」についての思いを集める事ができました。

あさおオレンジプロジェクトには令和2年度からご本人も参加して下さい、集まった声を基に「認知症にやさしいまちあさお」について普及啓発や研修会を実施してきました。

「認知症の人と共に生きる共生社会」の実現のためには、さらなる認知症への正しい理解の推進、関係者間での意識の共有等が必要です。今後もあさおオレンジプロジェクトで麻生区での取組を推進していきます。

認知症本人の声を基にした検討のプロセス



皆様にお願い!

- これからも本人の声を「本人からの情報発信」ととらえ今後も継続的に記録していきます。本人の「ありのままの声」をお寄せ下さい!
- 多くの区民の方と共有し、事業・取組に活かしていきます。

※参考出典：本人の声を起点とした認知症地域支援体制づくりガイド

令和2年5月 「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして～認知症の人の
声からはじまる地域のしくみづくり～」

令和3年3月 令和2年度「認知症になっても大丈夫！そんな麻生区をめざして～認
知症の人の声からはじまる地域のしくみづくり～」

問い合わせ先 麻生区役所地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)

地域支援課 地域サポート係

電話 044-965-5160

FAX 044-965-5169